

日本運動器看護学会認定運動器看護師 申請の手引き



日本運動器看護学会

2025年3月発行

目 次

I.	日本運動器看護学会認定運動器看護師制度について-----	1
1.	制度の目的	
2.	学会認定運動器看護師の役割	
II.	資格取得について -----	1
1.	書類審査・認定手続きの流れ	
2.	書類審査・認定試験申請資格	
3.	書類審査・認定試験の申し込み	
4.	書類審査・認定試験実施要領	
5.	可否発表	
6.	認定式および認定証・認定バッチの発行	
III.	学会認定運動器看護師育成講座について -----	4
1.	育成講座のコース概要	
2.	受講手続き	
3.	育成講座の実施	
4.	受講証明	
5.	該当コースの獲得ポイント証明の申請と承認	
6.	災害時の対応	
IV.	更新手続きについて -----	6
1.	資格の更新	
2.	認定更新申請資格	
3.	提出書類	
4.	認定更新費用	
5.	認定更新判定の実施	
6.	更新登録と更新認定証の発行	
7.	認定更新時期の猶予願	
V.	資格の失効 -----	7
VI.	各種書式一覧 -----	8
1.	書類審査・認定試験用書式	
	様式 I-1 書類審査・認定試験申し込み用紙	
	様式 I-2 活動報告書	
	(様式 I-2 活動報告書記入例)	
	様式 I-3 推薦書	
	様式 I-4 育成講座受講報告書	
	様式 I-5 育成講座該当学会等参加報告書	
2.	育成講座用書式	
	様式 II-1 育成講座受講申し込み用紙	

I. 日本運動器看護学会認定運動器看護師制度について

日本運動器看護学会認定運動器看護師（略称：学会認定運動器看護師）は、日本運動器看護学会が、審査・認定する独自の資格です。資格取得後の活動範囲は、整形外科領域に限らず、運動器の障害を有する患者への看護を必要とするあらゆる領域になります。

1. 制度の目的

日本運動器看護学会認定運動器看護師制度は、運動器看護の分野において専門的知識および熟練した技術を用いて、水準の高い看護を実践できる者を育成し、実践の場における看護の質を向上することを目的とする。

2. 学会認定運動器看護師の役割

日本運動器看護学会認定運動器看護師（略称：学会認定運動器看護師、英文表記：Japan Society for Musculoskeletal Nursing Certification 略記 JSMNC）とは、本学会の主催する育成講座を受講し、かつ試験に合格した者をいい、以下の役割を担う。

- 1) 運動器の障害に関する専門的知識に基づいて的確にアセスメントし、専門的な技術に基づいた看護を実践する。【実践】
- 2) 運動器の障害を抱える患者のQOLを高めるため、必要な職種と連携を図り、患者・家族を指導し支援する。【連携】
- 3) 運動器看護に関わる看護師に対して、教育・指導を行う。【指導】

II. 資格取得について

1. 書類審査・認定手続きの流れ

学会認定運動器看護師は、申請要件を満たした者に対する書類審査および認定試験により合否判定がなされ、本学会理事会による承認をもって認定されます。5年ごとに書類審査による更新が必要です。

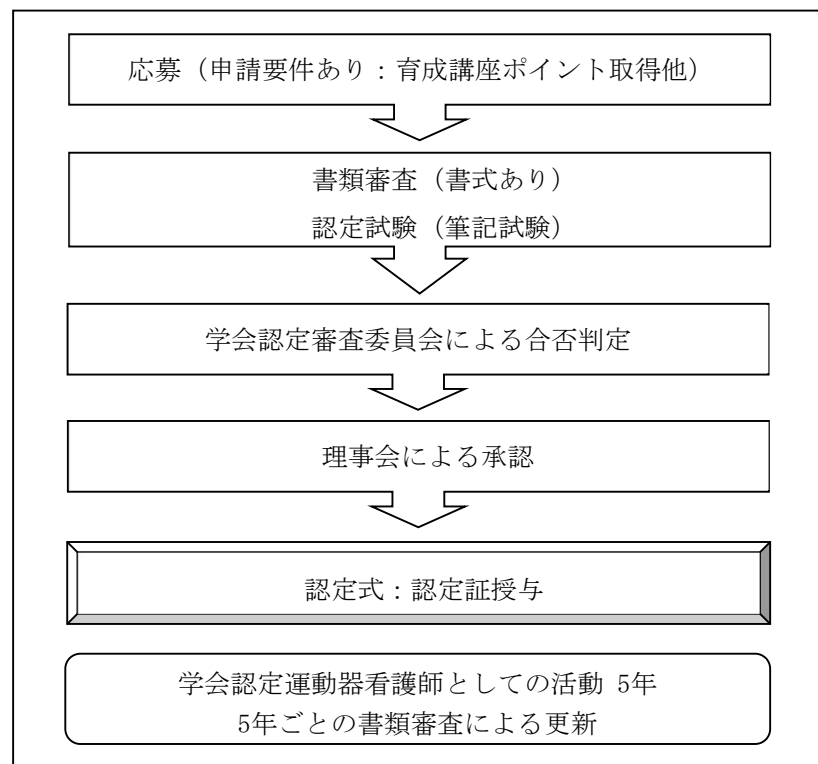


図 日本運動器看護学会認定運動器看護師の書類審査・認定手続きの流れ

2. 書類審査・認定試験申請資格

学会認定運動器看護師の書類審査・認定試験を受験するには、下記の申請要件を満たしている、または同等の要件を満たすと理事会が認める必要があります。

- 1) 日本運動器看護学会正会員である。
- 2) 看護師としての実践経験が 5 年以上あり、そのうち運動器の障害に関わる領域での実務経験が3年以上ある。
- 3) 上記1)から2)の条件を満たし、かつ、別表（表1）に示す日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座の全コースを受講し500ポイント獲得している、または別表（表 2）に示す同育成講座の該当ポイントを獲得し、育成講座と同等の履修が修了していることを「日本運動器看護学会認定審査委員会」に認められている。

3. 書類審査・認定試験の申し込み

学会認定運動器看護師書類審査および認定試験の受験には、下記の書類の提出と受験のための申請費の入金が必要となります。

<提出書類>

次の書類を、期間内に事務局まで郵送してください。

書類はホームページよりダウンロードするか事務局より購入してください。

- ① 書類審査・認定試験申し込み用紙（様式 I -1）
- ② 活動報告書（様式 I -2）記入例（p10）参照
- ③ 推薦書（様式 I -3）
- ④ 育成講座受講報告書（様式 I -4）
- ⑤ 必要に応じ、

コースⅠ該当ポイント獲得申請：「学位取得証明」（看護系大学院）

コースⅡ該当ポイント獲得申請：育成講座該当学会等参加報告書（様式 I -5）

コースⅢ該当ポイント獲得申請：該当なし

コースⅣ該当ポイント獲得申請：学会誌等掲載論文の別刷または全文複写
(学会誌名・巻・号・年が含まれていること)

<申請費>

3 万円

申請書類が受理されたら、事務局からの指示にしたがって、指定口座に申請費をお振り込みください。（通信欄に、「書類審査・認定試験受験費用」と記入してください。）

4. 書類審査・認定試験実施要領

書類審査は期日までに提出されたものについて行われます。原則として、申請要件を満たしている場合は、認定試験を受験することができます。詳細は、手続き後、本人宛に事務局より通知します。

学会認定運動器看護師認定試験

期 日	: 学会ホームページに記載
時 間	: 学会ホームページに記載
試験科目	: 育成講座コースⅠ～Ⅳの科目に該当する内容を出題
会 場	: 学会ホームページに記載

5. 合否発表

<合格判定>

書類審査と認定試験の結果に基づいて、「日本運動器看護学会認定審査委員会」が判定し、「日本運動器看護学会理事会」が承認した者を合格とします。

<合格発表>

試験終了後にホームページ (<http://jsmn.jp/>) にて合格者の受験番号を発表します。

6. 認定式および認定証・認定バッチの発行

学術集会の会期中に認定式を行い、認定式以降に学会認定運動器看護師認定証、認定バッチを授与します。

Ⅲ. 学会認定運動器看護師育成講座について

1. 育成講座のコース概要

日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座は、コースⅠからコースⅣの4コース16講座で構成されています（表1）。

すべてのコースの受講を終え、500ポイントを獲得した者に、学会認定運動器看護師の書類審査・認定試験の申請資格が与えられます。

ただし、コースⅠ、コースⅡ、コースⅣについては、表2の承認基準を満たす場合は、申請により、該当ポイントを獲得したとして承認することができます。

なお、育成講座の受講は受講申し込み時点で当学会会員であることが要件となっております。

表1 育成講座内容と獲得ポイント数

コース名	講座名	ポイント
Ⅰ. 学会認定運動器看護師基礎コース (4 講座)	1. 学会認定運動器看護師の役割と機能	20P
	2. 患者のQOL 向上のための多職種との連携	20P
	3. 患者・家族看護における倫理的課題と対応	20P
	4. 看護実践事例の特徴と事例検討の方法 (看護実践事例報告作成方法を含む)	40P
Ⅱ. 臨床看護基礎コース (診断・治療 5 講座、看護 5 講座)	5. 中枢神経・末梢神経障害と治療	20P
	6. 関節機能障害と治療	20P
	7. 骨折・外傷と治療	20P
	8. 手の機能障害と治療	20P
	9. 小児運動機能障害と治療	20P
	10. 成長発達と運動機能障害に合わせた看護	20P
	11. 運動器疾患の急性期の看護	20P
	12. 中長期の運動制限とADL障害に応じた看護	20P
	13. 運動器の痛みを抱える患者への看護	20P
	14. 高齢者の運動機能障害に合わせた看護	20P
Ⅲ. 臨床看護実践コース (1 講座)	15. 運動機能障害に合わせた援助技術	120P
Ⅳ. 看護実践事例報告コース (1 講座)	16. 運動器疾患患者への看護実践事例報告	80P

※コースⅠおよびコースⅡは、講義形式の授業となります。

※コースⅢは、事前課題に即した演習形式のグループ学習です。受講後、看護師を対象とした指導案作成をレポート課題とし、提出をもって受講終了となります。

※コースⅣの受講者には、提出書式等を案内しますが、原則として執筆指導はしません。看護実践事例報告をまとめる上でのリソースパーソンを獲得は、受講者個人の責任で行うことになります。

※育成講座は複数年かけて受講することが可能ですが有効年限は5年です。複数年にまたがり受講する際は各自の責任において受講予定を計画してください。

表 2 育成講座の該当ポイント獲得の承認基準

コース名	承認基準
I. 学会認定運動器看護師基礎コース	看護系大学の修士課程修了生については、「学位取得証明」の提出をもって獲得とする。
II. 臨床看護基礎コース	日本運動器看護学会学術集会の基調講演、教育講座、シンポジウム等は、各10P相当とし、「育成講座該当学会等参加報告書」および「参加証明書」の提出をもって獲得とする。 本会地区研修会のうち参加証のある研修会は、各10P相当とし、「参加証明書」の提出をもって獲得とする。ポイントは5年間有効とする。
III. 臨床看護実践コース	これまでの学会開催の企画で認められるものはない。
IV. 看護実践事例報告コース	日本整形外科看護学会誌を含め、査読のある看護系学会誌での「事例への援助」が内容に含まれている掲載論文は、掲載論文の提出をもって申請し、認定審査委員会で認められれば、獲得とする。

2. 受講手続き

1) 受講料

各コースの受講料は、下記のとおりです

コース名	費用
コース I (4 講座：講義)	30,000 円
コース II (10 講座：講義)	60,000 円
コース III (1 講座：演習)	50,000 円
コース IV (1 講座：事例報告評価)	24,000 円

2) 受講申し込みと選考

受講申し込みはホームページにて行なっております。受講受付期間内に日本運動器看護学会ホームページよりお申込みください。 <https://jsmn.jp/jsmnc/become/about/>

また、応募者多数の場合、受講が難しい場合があります。認定審査委員会で検討の上、受講可能なコースと振込み口座について連絡いたします。

その他の受講申し込みに関する注意点は以下の「受講申し込みに関する注意事項」をご確認ください。

【受講申し込みに関する注意事項】

- ❑ 申し込みコースの受講案内等の資料をメールで添付するので、資料（pdf、word、excelファイル）の閲覧ができるデバイス（PC、タブレットなど）のメールアドレスを登録してください。また各講座ではZOOMを利用しますので、対応できるデバイスをご用意ください。
- ❑ 当学会員でない方はまず入会手続きを行ってください。入会手続きはホームページで確認できます。
- ❑ 申し込み書類に記載漏れ等の不備がある場合、申し込み書の修正をお願いする場合があります。
- ❑ 申し込みコースの確定および入金口座に関する連絡は、申し込み期間経過後メールにて連絡します
- ❑ 申し込みから10日を経過しても事務局から連絡が無い場合は、下記事務局までお問合せください。

日本運動器看護学ヘルプデスク E-mail：jsmnc-helpdesk@conf.bunken.co.jp

HP： <https://jsmn.jp/>

3. 育成講座の実施

各コースの受講要領など詳細は、受講者に対して直接連絡いたします。

4. 受講証明

各育成講座の受講が終了すると、受講証明書が発行されます。

書類審査・認定申請の際必要になりますので、各自保管してください。

5. 該当コースの獲得ポイント証明の申請と承認

書類審査・認定申請の際、必要な書類を提出してください。書類審査によって、認定審査委員会で承認されます。

6. 災害等の対応

災害等で育成講座の開催が中止となった場合は、次年度以降の育成講座を受講することができます。対象講座の受講生が多数の場合は、優先的に受講できます。

なお、災害や感染症など、やむを得ない事由により欠席した場合は、繰越受講が認められる場合があります。繰越受講は所定の申請をすることで受講料免除の上で次年度の受講が認められるものです。詳細は事務局にお問い合わせください。

IV. 更新手続きについて

1. 資格の更新

学会認定運動器看護師として資格取得後5年ごとに認定更新申請が必要です。

2. 認定更新申請資格

資格の更新を申請するには下記の要件を満たす必要があります。

- ① 日本運動器看護学会認定運動器看護師の資格を有する者
 - ② 資格取得後5年間に、活動実績ポイント承認基準に基づき、日本運動器看護学会認定運動器看護師としての活動実績を300ポイント以上有する者
- ※詳細はホームページにて公開しています。

3. 提出書類

更新の申請には、申請期間内に下記の書類の提出が必要です。ホームページより所定の書式をダウンロードしご提出ください。

- ① 認定更新申込書
- ② 活動実績ポイント証明書

4. 認定更新費用

更新申請料2万円、登録料1万円です。

5. 認定更新判定の実施

認定更新判定は期日までに申請書類が提出された際に行われます。書類審査により「日本運動器看護学会認定審査委員会」が判定し、「日本運動器看護学会理事会」が承認した者を更新認定者とします。更新対象者には、事務局より申請手続き前に通知予定です。また申請の6か月前には、ホームページに更新の案内を掲載します。

6. 更新登録と更新認定証の発行

更新認定者には、登録料を納金後、更新認定証を発行します。

7. 認定更新時期の猶予願

やむを得ない事由により更新期間に更新申請ができない場合、「認定更新時期の猶予願」をもって所定の手続きによる申請を行い、「日本運動器看護学会理事会」において認められた場合に限り、認定期間の1年間の延長が認められます。

V. 資格の失効

以下の事項に該当する場合は資格を失効します。その場合は速やかに認定証と認定バッチを事務局へ返納してください。

- ① 本学会を退会する場合
- ② 認定更新をしない場合
- ③ JSMNCとして相応しくない行為をした等の理由により資格の取消しを理事会が決定した場合

【問い合わせ先】日本運動器看護学会事務局

〒162-0810 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL : 03-3824-9371 FAX : 03-5227-8631

E-mail : jsnm-post@as.bunken.co.jp

VI. 各種書式一覧

1. 書類審査・認定試験様式

見本

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-1

書類審査・認定試験申し込み用紙

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名

印

日本運動器看護学会理事長 殿

学会員番号

私は日本運動器看護学会認定運動器看護師の書類審査・認定試験を受けたいので、必要書類ならびに審査料を添えて申請します。

性 別	男 ・ 女 ・ その他		
生年月日	西暦 年 月 日生 年 齢 歳		
勤務先	所属部署		
勤務先住所	〒 ー		
電話		FAX	
E-mail			
自宅住所	〒 ー		
電話		FAX	
E-mail			
郵便物の送り先 (いずれかに○)	1. 勤務先 2. 自宅		
日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座 受講番号			
添付書類 (確認したら☑)	☐ 審査・試験申し込み用紙 (様式 I-1) = 本紙 ☐ 活動報告書 (様式 I-2) ☐ 推薦書 (様式 I-3) ☐ 育成講座受講報告書 (様式 I-4) ※受講証明書を添える または育成講座該当学会等参加報告書 (様式 I-5) ※参加証明書を添える		

* 申請書提出後、上記内容に変更のあった場合はお知らせください。

* 申請書等の個人情報は日本運動器看護学会認定運動器看護師制度のためにのみ使用します。

* 2回目以降の受験の場合には、書類審査・認定試験申し込み用紙：2回目以降受験者申請用 (様式 I-1') をホームページよりダウンロードの上、ご使用ください。

* 申請書類は全て和暦ではなく西暦でご記入ください。

書式は事務局またはホームページより入手してください

見本

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-2

活動報告書

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名 印

学会員番号

1. 資格（看護師、保健師、助産師、認定看護師、専門看護師）	取得年月日	登録番号
2. 職歴（部署移動も記入する。運動器系の部署である場合それを明記する）		期間（年月で記入）
3. 看護実践内容（期間）：要約（記入例参照） ※日本運動器看護学会認定運動器看護師の申請の手引きに記載している学会認定運動器看護師の役割である【実践】、【連携】、【指導】の3点を入れ、要約を記入する。		
4. 主な業績（論文、学会発表等）		

記入例

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-2

活動報告書

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名

印

学会員番号

1. 資格（看護師、保健師、助産師、認定看護師、専門看護師）	取得年月日	登録番号
1) 看護師免許	20〇〇年〇月〇日	第 号
2. 職歴（部署異動も記入する。運動器領域がわかるように記載する。cf. 手引き申請資格）		期間（年月で記入）
A 大学医学部附属病院 4 A 病棟（外科・耳鼻科）看護師		198〇年4月～△年3月
同 6 B 病棟（整形外科）看護師		199△年4月～20□年8月
同 6 B 病棟（整形外科）副看護師長		20□年9月～20▽年2月
同 看護師長（夜間管理）		20▽年3月～20◇年2月
同 5 A 病棟（循環器内科・呼吸器内科）看護師長		20◇年3月～20◎年6月
B 病院（回復期リハ病棟）看護師長		20◎年7月～現在に至る
3. 看護実践内容（期間）：要約（記入例参照） ※日本運動器看護学会認定運動器看護師の申請の手引きに記載している学会認定運動器看護師の役割である【実践】、【連携】、【指導】の3点を入れ、要約を記入する。整形外科や脳神経外科という診療科だけでなく、手術部、集中治療 部、小児科、外来等において、運動器の障害を有する患者への看護についての実践内容でも良い。		
・術式および麻酔法変更に伴う人工膝関節置換術後のROM拡大にむけた援助（1993年11月～1995年2月）：新たに導入されたTKA術式および麻酔法に合わせて、疼痛コントロールを加味しながら、術直後よりROM拡大を促す援助について、看護師向けの手順書を作成して、実施した。 ・変形性股関節症患者の人工股関節置換術後のADL拡大の援助（1995年6月～1997年7月）：長期間の変形性股関節症による痛みとROM制限により、術前からADL低下している患者へのADL拡大について理学療法士との連絡用紙を作成し、連携し実施した。 ・脊椎術後安静患者の効果的な体位交換及び安楽への援助（1996年5月～1998年2月）：脊椎術後の体幹動作の安定のため安静が必要とされる患者に対して、褥瘡予防、同一体痛緩和に重点をおき、体位変換の時間間隔、自己ローリング指導を含めて、安楽な姿勢で過ごせる援助を工夫し、患者教育教材を作成の上、実践した。 ・脊椎損傷患者および家族への精神的援助のチームアプローチの工夫（1997年8月～2001年2月）：脊椎損傷急性期の入院患者および家族に対し、心理的危機状況に合わせて、精神科や心療内科、リエゾン看護師と協働で精神的安寧を図るためのチームアプローチについて、事例検討を行って実践した。 ・心不全回復期の患者への廃用症候群予防（2003年8月～2005年12月）：病棟全体で行えるようにするための患者教育パンフレット“ベッドで始めるリハビリ”を作成し、実践した。		
4. 主な業績（論文、学会発表等）		
<論文>		
1) 〇〇▽, □□◎：人工膝関節術後の疼痛に影響を与える要因，整形外科看護，第▽巻第〇号，49-52，2000		
2) 〇〇▽：人工膝関節全置換術後痛、持続的他動運動後痛および術後早期関節可動域に対する漸進的筋弛緩法の効果，日本整形外科看護研究会誌，vol. ▽， 56-63，2008		
<学会発表>		
1) 〇〇▽：□□◎人工膝関節全置換術後の疼痛とROMに対する漸進的筋弛緩法の効果、平成◎年6月第▽回日本整形外科看護研究会学術集会		

書式は事務局またはホームページより入手してください

見本

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-3

推薦書

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名 印

学会員番号

日本運動器看護学会

理事長 殿

(受験者氏名)

_____を日本運動器看護学会認定運動器看護師 受験者として推薦致します。

推薦者所属および役職

推薦者氏名

_____ 印

※本用紙は、資格取得後の活動を支援いただける方に依頼することを推奨します。

※申請者と推薦者の所属施設が同一かどうか、看護職かどうかは不問です（ただし自薦は不可）。

※書式の変更は認められません。A4用紙1枚でご提出ください。

見本

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-4

育成講座受講報告書

※受講証明書と共に提出すること。

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名

印

学会員番号

育成講座受験番号

I. 学会認定運動器看護師基礎コース（計100P）	ポイント	受講年月日
1. 学会認定運動器看護師の役割と機能	☐ 20P	
2. 患者のQOL向上に向けた多職種との連携	☐ 20P	
3. 患者・家族看護における倫理的課題と対応	☐ 20P	
4. 看護実践事例の特徴と事例検討の方法	☐ 40P	

※ポイント獲得承認申請の場合、受講年月日欄に学位取得年月日を記入し、「学位取得証明」を提出すること。

II. 臨床看護基礎コース（計200P）	ポイント	受講年月日
5. 中枢神経・末梢神経障害と治療	☐ 20P	
6. 関節機能障害と治療	☐ 20P	
7. 骨折・外傷と治療	☐ 20P	
8. 手の機能障害と治療	☐ 20P	
9. 小児運動機能障害と治療	☐ 20P	
10. 成長発達と運動機能障害に合わせた看護	☐ 20P	
11. 運動器疾患の急性期の看護	☐ 20P	
12. 中長期の運動制限とADL障害に応じた看護	☐ 20P	
13. 運動器の痛みを抱える患者への看護	☐ 20P	
14. 高齢者の運動機能障害に合わせた看護	☐ 20P	

※ポイント獲得承認申請の場合、受講年月日欄に「学会等参加」と記入し、「様式 I-5 育成講座該当学会等参加報告書」と「参加証明書」を提出すること。

III. 臨床看護実践コース（計120P）	ポイント	受講年月日
15. 運動機能障害に合わせた援助技術	☐ 120P	

※本コースは、ポイント獲得承認申請には該当しない。

IV. 看護実践事例報告コース（計80P）	ポイント	受講年月日
16. 運動器疾患患者への看護実践事例報告	☐ 80P	

※ポイント獲得承認申請の場合、受講年月日欄に「掲載論文有」と記入し、学会誌掲載論文の別冊または全文複写を提出すること（学会誌名・巻・号・年を明記する）。

書式は事務局またはホームページより入手してください

見本

日本運動器看護学会認定運動器看護師 様式 I-5

育成講座該当学会参加報告書

※参加証明書（原本）とともに提出すること。総計200P以上で承認。

西暦 年 月 日

フリガナ

申請者氏名

印

学会員番号

学術集会内受講講座名

記入例：第8回学術集会 基調講演

各10P 計 _____ P

地区研修会受講講座名

記入例：2018年12月1日地区研修会（東京）

各10P 計 _____ P

書式は事務局またはホームページより入手してください

日本運動器看護学会 事務局

〒162 - 0801

東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

株式会社国際文献社内

E-mail : jmn-post@as.bunken.co.jp

HP : <https://jmn.jp/>